

Ⅲ. 教育の実施体制

1. 教員組織

(1) 教員数・構成 (2010年5月1日現在)

1) 専任教員数

学科等名	専任教員数					設置基準で定める教員数 ()内は教授数	助手	副手・補助職員・技術職員等	備考
	教授	准教授	講師	助教	計				
情報処理学科	5	4	0	0	9	7 (3)	0	0	
国際文化学科	4	5	2	0	11	5 (2)	0	0	
(小計)	9	9	2	0	20	12 (5)	0	0	
学科外所属	0	0	0	0	0		0	2	
(合計)	9	9	2	0	20	4 (2)	0	2	

* 設置基準で定める教員数(合計)欄には、短期大学全体の入学定員に応じて定める専任教員数(第22条別表第1のロ)を記載している

2) 専任教員年齢構成

区分	専任教員(助教以上)年齢構成							助手等の平均年齢	備考
	70以上	60~69	50~59	40~49	30~39	29以下	平均年齢		
両学科合計 20人	0	10	3	5	2	0	53.8		

3) 専任教員名簿

(専任教員)

職名	氏名	(学) 東海大学 採用年月日	福岡短期大学 発令年月日	現職発令 年月日	
学長	西野 仁	78.4.1	10.4.1	10.4.1	
情報処理学科	主任・教授	矢原 充敏	93.4.1	93.4.1	10.4.1
	教授	伊津 信之介	80.4.1	94.4.1	03.4.1
	教授	斎藤 守正	74.4.1	92.4.1	10.4.1
	教授	貝田 翔二	77.4.1	08.4.1	10.4.1
	教授	佐竹 則昭	07.4.1	07.4.1	10.4.1
	准教授	末松 泰子	92.4.1	92.4.1	02.4.1
	准教授	徳永 克美	74.4.1	90.4.1	99.4.1
	准教授	八尋 剛規	92.4.1	92.4.1	10.4.1
	講師	宮川 幹平	03.4.1	03.4.1	10.4.1
国際文化学科	教授	西野 仁	78.4.1	10.4.1	10.4.1
	学長補佐・主任・教授	真下 仁	90.4.1	90.4.1	10.4.1
	教授	宮内 順	00.4.1	00.4.1	10.4.1
	教授	吉岡 メリー エレン	91.4.1	91.4.1	10.4.1
	准教授	赤井 ひさ子	92.4.1	92.4.1	00.4.1
	准教授	伊原 奉賢	93.10.1	93.10.1	96.4.1
	准教授	神山 高行	93.4.1	93.4.1	99.4.1
	准教授	竹内 裕二	07.4.1	09.4.1	09.4.1
	准教授	チョウ アンナ	07.4.1	07.4.1	10.4.1
	講師	大方 優子	04.4.1	04.4.1	04.4.1
	講師	北濱 幹士	04.10.1	04.10.1	05.4.1

(2) 教員の授業担当数 (2010年度)

1) 専任教員担当授業数

所属	総コマ数 (年間)	教員一人当たりの担当持ちコマ平均 (1週間)				
		全体平均	教授	准教授	講師	助教・助手
情報処理工学	55	6.1	5.3	7.1		
国際文化学	74	6.7	5	7.9	7.1	
計	129	6.4	5.2	7.6	7.1	

2) 兼任教員 (非常勤教員) 担当授業数

科目種別	総コマ数 (年間)
両学科共通科目	7
情報処理工学専門科目	4
国際文化学専門科目	14
計	25

2. 教育環境

(1) 校地面積等

- ・校地面積 77,714.71 m²
- ・建物面積 11,605.01 m²
- ・建物別・用途別面積 (登記簿謄本上面積) (単位: m²)

	1号館	2号館	3号館	部室	守衛室	エネルギー棟	体育倉庫	プロパン庫	コモンホール	合計
階数	6	5	2	2	1	2	1	1	3	
床面積	3,962.07	4,222.80	1,220.00	297.82	28.94	181.30	38.03	7.50	1,646.55	11,605.01

【内訳】

講義室	1,338.00	1,144.47	-	-	-	-	-	-	-	2,482.47
演習室	-	652.40	394.17	-	-	-	-	-	-	1,046.57
実験室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
演習室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
研究室	445.48	299.70	-	-	-	-	-	-	-	745.18
管理関係その他	1,920.85	1,270.43	94.83	-	28.94	181.30	-	7.50	-	3,503.85
学生会館	226.24	-	731.00	-	-	-	-	-	-	957.24
課外活動施設	-	-	-	198.15	-	-	-	-	-	198.15
図書館	-	855.80	-	-	-	-	-	-	-	855.80
講堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体育施設	-	-	-	99.67	-	-	38.03	-	1,646.55	1,784.25
附属研究室	31.50	-	-	-	-	-	-	-	-	31.50
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 教室環境とその整備体制

号館	階	教室名	整備状況
1号館	3階	保育学演習室	特に無し
		1302 教室	特に無し
		1303 教室	移動マイクアンプ有
		1304 教室	特に無し
		1305 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
		1306 教室	特に無し
		1307 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
	4階	1401 教室	特に無し
		1402 教室	特に無し
		1403 教室	特に無し
		1404 教室	特に無し
		1405 教室	特に無し
	5階	1406 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有、書画カメラ有
視聴覚教室		プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 テレビ（BS放送受信可）	
		LL 教室	プロジェクター有
2号館	1階	2102 教室	特に無し
	3階	コンピュータ実習室 1	コンピュータ 52 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 2	コンピュータ 32 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 3	コンピュータ 26 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD, VHS, DV, HDD ビデオレコーダー有
		コンピュータ実習室 4	コンピュータ 28 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 5	コンピュータ 8 台 MIDI コントローラ、USB ミキサー、ボーカルマイク、 CDJ、DAW・総合音源、VOCALOID 初音ミク使用可
	4階	ゼミ室 2・3	移動マイクアンプ有
	5階	2501 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		2502 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD, VHS 有

(3) 整備状況（10万円以上の工事）

1) 1・2号館堅樋取替工事

1・2号館ベランダに設置してある堅樋は雨水排出のための配管だが、腐食が激しく管の上下が錆びて危険な状態にあり、塩ビ管への取替工事を実施した。

2) 1・2・3号館排水系統洗浄工事

1・2・3号館配水管について、既設の柵の深度と施工配管の勾配が充分に取れていないので、配管内に土砂や落ち葉等が堆積し、流れにくくなっており、植木の根も侵入していたので、根の除去と補修も含めて洗浄工事を実施した。

3) 1号館高置水槽漏水補修工事及び3号館・コモンホール女子トイレ修繕工事

1号館5階の水槽が漏水し、4階に水が落ちているのでコーティングの補修工事を実施した。また、3号館・コモンホール女子トイレの給水管と便器の詰まりに対し修繕工事を実施した。

4) 2号館3階コンピュータ実習室天井貼り替え工事

2号館4階湯沸し室から漏れた水が共同ゼミ室6に染み出し、3階コンピュータ実習室4の天井から漏水が起こったので、天井貼り替え工事を実施した。

5) 2号館井戸設備改善工事及び給水管(市水)漏水修繕工事

2号館北側に設置してある井戸ポンプの配管が外れ、受水槽に水が供給できなくなった。また市水に切り替えたところ、配管が破れて漏水したので、井戸及び配管を復旧するため、修繕工事を実施した。

6) 3号館1階食堂他クロス貼り替え並びにバンケットルーム床及びクロス貼り替え工事

3号館(食堂棟)1階食堂及びバンケットルーム内の壁のクロスは継ぎ目が剥がれ外見が悪く汚れも目立っているため、貼り替え工事を実施した。

7) 3号館1・2階カーテン改修工事

3号館1・2階のカーテンは短大設立時に設置しており、くすみと破れが目立っているため、改修工事を実施した。

8) 3号館玄関土間石張り替え工事

3号館1階玄関前の「土間石」に剥げた部分や浮いた部分が出ており、危険性もあるので張り替え工事を実施した。

9) 3号館前他駐車場整備工事

3号館前、テニスコート横三角地及び北側駐車場は舗装されてなく駐車枠が整備されていない。今年度、職職員・学生・外来者用の駐車位置を定めたこともあり、駐車用の枠を施す整備工事を実施した。

10) エネルギー棟空調機改修工事

空調設備(1・2号館対応)は短大設置後21年を経過した。老朽化の為、故障も多く定期メンテナンスで整備していたが空調機本体2台の内、1台は故障稼動しなくなった。また、燃料は重油を使用しており、熱源にかかる経費と二酸化炭素排出量を削減するの為、空冷チラーへの改修工事を実施した。

11) コモンホールアリーナステージ用車輪取替工事

コモンホールアリーナ(2階)には、可動式ステージが設置してあるが、ステージ車輪のゴムが腐食破損しステージを出し入れすることができなく、アリーナの床も傷つくので、車輪の取替工事を実施した。

12) コモンホール照明ランプ取替工事

コモンホールアリーナ(2階)の照明(全48灯)が17灯切れているので、電気専門業者に依頼し取替工事を実施した。

13) 屋外階段(守衛室横)タイル補修工事

守衛室横の屋外階段は、1999年度に整備されたが、一部タイルが剥げて目地から雨水が流入して拡散しているため、階段周りのタイルの補修工事を実施した。

14) 総合グラウンド改修工事

総合グラウンドは、雑草が蔓延り、土質が硬く水捌けも悪いので、競技等に使用することができない。また、雨天時は、自由ヶ丘幼稚園に雨水が流出しているため、グラウンドの改修工事と側溝工事を実施した。

15) 駐車場案内サイン改修及び新規工事

構内の駐車場案内看板は、1号館前に部分的にしか設置されていない。教職員・学生・外来者を明確に分け、外来者の立入りについても守衛室でのチェック機能を高める為、改修・新規設置工事を実施した。

16) 独立案内サイン改修工事

1号館玄関横の独立案内サインは、短大設置後20年を経過し、塗装が剥けているため、全面改修工事を実施した。

17) 焼却炉撤去工事

エネルギー棟裏に1983年に設置された焼却炉があるが、2002年の廃棄物処理法の改正により、焼却炉を使用することができない上、内壁が朽ちて倒壊する恐れがあるので、撤去工事を実施した。

3. メディア情報環境

(1) 図書館

1) 概要

図書館の概要は次のとおりである。

2010 年度 図書館の概要

床面積	908.00m ²
書架棚総延長	2040m
収容能力	80,000 冊
奉仕対象学生数	253 人
座席数	120 席
蔵書数	74,784 冊
視聴覚資料	2,507 点
予算	3,044,000 円
開館時間 (通常 月～金)	9:00～18:00
開館時間 (通常 土)	9:00～16:00
開館日数	271 日
入館者数	16,902 人
一日平均入館者数	62 人
学生貸出冊数	1,087 冊
学生一人当たり貸出冊数	6 冊
外部貸出冊数	13 冊

図書・雑誌・視聴覚資料等の蔵書詳細は以下のとおりである。

和書・洋書総蔵書冊数

和書	洋書	合計
68,504 冊	6,018 冊	74,522 冊

2009 年度受入蔵書冊数

	和書	洋書	合計
購 入	520 冊	6 冊	526 冊
寄 贈	53 冊	0 冊	53 冊
視聴覚	0	0	0
合 計	573 冊	6 冊	579 冊

雑誌総所蔵数

和雑誌	洋雑誌	合計
454 種	57 種	511 種

2009 年度受入雑誌種数

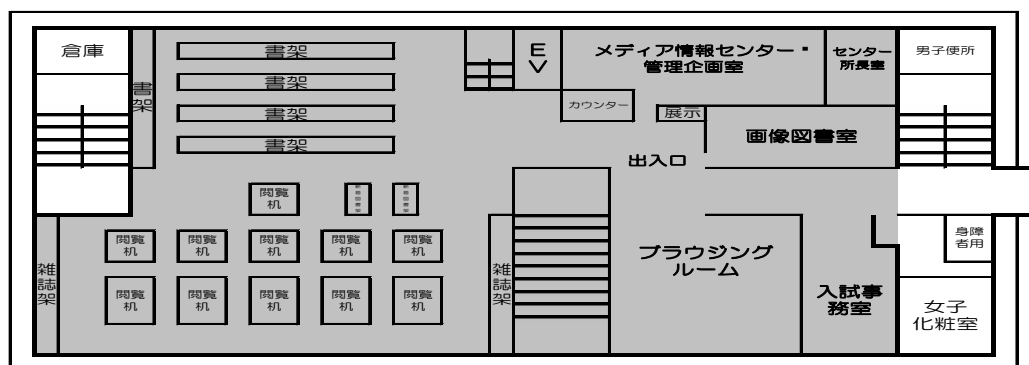
和雑誌	洋雑誌	合計
218 種	11 種	229 種

視聴覚資料総数

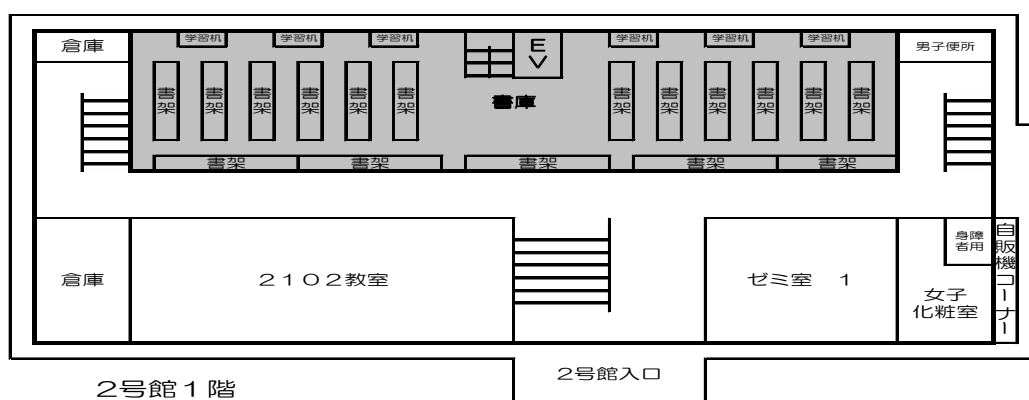
ビデオ	LD	DVD	CD	カセット
1,326	183	315	555	128

また、全体配置図は以下の通りである。

フロアガイド



2号館2階



2号館1階

(機器設備の配置状況)

本学では、図書館が2号館の1階と2階に配置されている。館内には書庫と閲覧室以外に画像図書室、グループ学習室、ブラウジングルームを備えている。その概要は上記表に示したとおりであるが、その他にAV機器12セット、コピー機1台がある。パソコンは、事務用として3台、利用者の図書検索用として1台配置しており、いずれもLANに接続している。

画像図書室には、ビデオ、DVD、CD等が視聴可能な機器を12セット備えており、各種語学・資格試験講座・視聴覚教材の他に、各種の音楽や映画等のVHS・DVD・CD等を視聴することができ、利用者も比較的多い。閲覧にはヘッドホンを使用させ、かつ図書閲覧室とは分離させてあるため、音等の問題は発生しない。

新着図書に関しては、2階閲覧機のそばに専用の書架を設置しており、古くなったものから随時1階書庫に移動している。また、書架配架の乱れは利用効率が低下する点を含み整備点検を重要視している。

(図書館システムと情報化)

本学単独のシステムとしては稼働しておらず、東海大学中央図書館に専用回線で接続し、図書館情報システム(iLiswave:TIME)を利用しており、蔵書検索にはOPACを用いている。東海大学附属図書館所蔵書誌データベースと国立情報センター目録情報システムをベースとした遡及入力作業も順調に推進しており、今年度までに36,616件(49.0%)完了している。また、図書館ホームページを公開しており、新着図書情報、図書検索が行えるようにしている。

(図書の購入・廃棄)

2010年度の図書予算は3,044,000円であり、内、図書費・図書資料費は2,500,000円である。図書の購入は、教職員からの希望、学生の希望を優先し、館員がウィークリー出版情報等図書カタログからも選定している。これらの選定図書については、本学の教育及び研究活動に対する有用性について十分に留意し、また学生の希望も勘案の上、ラーニングリソースラボ室長の承認を得て購入している。また、

資格関連の図書については、毎年内容が更新されることから、関係教員から選定してもらった資格図書について定期購入を行っている。

廃棄図書については、以下に示す固定資産とした資料に関して、除籍資料明細書を作成し、ラーニングリソースラボ室長より所定の手続きを経て、学長の決裁の上、除籍する。

- (1) 紛失資料で所在不明となって3年を経過したもの
 - (2) 破損・汚損・摩擦等が甚だしく補修不能なもの
 - (3) 資料価値を失ったもの
 - (4) その他ラーニングリソースラボ室長が除籍を適当と認めたもの
- 除籍・抹消した資料については、所定の手続きにより破棄する。

(図書館の運営)

図書館の運営にあたっては、メディア情報センター運営会議で審議検討される。現在、ラーニングリソースラボ室長(教員)、常勤職員1名はメディア情報センター管理企画室の事務も兼務しており、多面的な業務と図書館業務を並行しているため、学生スタッフ10名と共に図書館の運営に欠かせない状況である。

(学生の利用促進への取組み)

4月に全学生に配布するキャンパスガイド内に、図書館利用ガイドを記載しており、入学時オリエンテーションあるいは全体ガイダンスで利用方法等の概要を案内し、ゼミ別、個人・グループ別の「図書館ツアー」、「文献検索ツアー」「レポート作成ツアー」参加を積極的に参加を促している。また、ブラウジングルームや図書館資料リクエスト、利用者の要望を聴く「投書箱」を設置し、学生が利用しやすい環境を整えている。

(他大学、地域との連携)

本学は、国立情報学研究所(NACSIS)に参画しており、他大学との図書館相互貸借を行っている。また、「福岡県・佐賀県大学図書館協議会」、「西日本図書館学会」のメンバーとして、近隣大学とも積極的な取組みを行っている。

地域との連携では、本学の所在する宗像市における「むなかた大学のまち協議会」に参画しており、市民図書館、同市内の福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学との間で図書館相互貸借を実施している。その他、一般市民に対しても図書館を開放しており、図書の貸出サービスを実施している。

2009年度の相互貸借状況は以下のとおりである。

他図書館との相互協力状況

相互貸借件数		文献複写件数	
本館からの貸出冊数	他館からの借受冊数	他館からの受付件数	他館への依頼件数
12	13	2	0

(学生の利用状況)

学生の利用頻度は、2010年度総入館者数16,902人、画像図書室利用総数166人、貸出冊総数1,341冊となっている。学生の閲覧頻度が高い図書については複数冊購入しているが、これらの図書の閲覧時期が集中するため、希望図書を閲覧できないこともある。また、図書閲覧室の利用時期についても、検定試験前あるいは定期試験時期に集中する傾向があり、これらの時期は閲覧席が満席に近い状態となることがある。それ以外の時期は、1割程度の利用であり、夏期・春期休暇中の利用者は非常に少ない。

画像図書室の利用状況は、授業実施時期で1日平均14人程度の利用であり、現時点で座席数等の問題は無い。ブラウジングルームについては、利用頻度が極めて高く、時間帯によっては席が無いこともある。

2) 現状の問題点と改善に向けての取組み

図書購入に関しては、随時希望を受け付けているが、購入時期や購入分野に偏りが見られる。また、ここ数年で学科内に新設した新たな学習分野に関する専門図書が不足している状況である。学生の利用

状況も検定試験や定期試験時期以外での利用が極めて少なくなっている。これらは、インターネットの普及のみならずその情報量の急増に伴い、情報入手方法など学習スタイルの変化が大きく影響していることは明らかである。実社会においても、インターネット上の情報をより早く、的確に把握し分析する能力が求められており、この流れは当面続くことが予想される。一部科目においては、図書館の活用を促す課題提示など、図書館の利用促進に向けた動きもみられるが、決して十分とは言えない。その中で、学校における図書館の意義を再確認し、各科目との連携など利用促進に向けた創意工夫が求められるだけでなく、新しい図書館の創造に向けた検討も必要に迫られている。

(2) コンピュータ実習室

1) 概要

2006年度に行った基幹スイッチ・サーバ、クライアントの更新に伴い、実運用と照らし合わせたシステムの改善を進めつつ、安定稼働に努めた。また、文部科学省の現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム（現代G P）の採択（2005～2006年度）により導入されたサーバ、コンテンツについても引き続き運用を行い、教育効果を高めた。

2) 業務内容

a. コンピュータ実習室管理

新システムの教育環境の改善と安定稼働を目指し、情報システム室の担当職員を中心に委託業者を加え作業を行った。セキュリティ対策として導入したログ収集ソフトウェア、Web カメラ等を運用し、一定の効果を上げた。

b. コンピュータ実習室運営

コンピュータ実習室は午前9時から午後7時まで開館している。午後5時以降の業務は学生アルバイトで対応した。

5つあるコンピュータ実習室は授業優先で利用され、その他空き時間は学生が自由に利用できる。この間の利用サポートは情報システム室職員により行われる。特に、MS-Officeをはじめ学生たちのレポート作成にかかわるサポート、プリンター出力時のトラブルに関するサポートを中心に行われた。情報システム室職員には、パソコン利用に関する幅広い知識が要求された。

c. Web ページ管理

下記に挙げる各 Web ページの維持管理を行った。

- 学外向けかわら版 Web ページ(<http://cms.ftokai-u.ac.jp/>)
- 学生ポータル Web ページ(<http://home.ftokai-u.ac.jp/>)
- 業務ポータル Web ページ (<http://info.ftokai-u.ac.jp/info/>)
- ケータイ向け Web ページ(<http://m.ftokai-u.ac.jp/i/>)

学生ポータル Web ページには、授業情報、休講情報、就職情報、編入情報など、学生たちが学生生活に必要な情報が掲載されている。

d. 維持管理

情報システム室のホスト室には MS-Windows 系サーバが 8 台（ドメインコントローラ、ファイルサーバ、データベースサーバなど）、UNIX 系サーバが 16 台（Web サーバ、データベースサーバ、キャッシングプロキシサーバ、メールサーバ、Web コンテンツサーバ、NTP サーバなど）設置されており、これらのマシンが本学の ICT 化の根底を支えている。これらサーバマシンを 24 時間体制で監視・維持していく必要がある。

e. 他部署 ICT 化補助

ICT 化が進む学内部署において、システム側の作業は順調に進んでいるが、利用率の伸びは鈍い状況である。利用者がこれらを有効利用するためには、システムの操作方法などの把握が不可欠である。このため、利用者に対し必要な補助を行った。

f. 各種情報のデジタル化

学生カルテ、出張上申、学事伝票、業務日報の電子化・データベース化を継続して行った。

g. 福岡キャンパス各組織（付属第五高校、付属自由ヶ丘幼稚園）の支援活動

同一キャンパス内に設置されている付属第五高等学校、付属自由ヶ丘幼稚園の ICT 環境のサポートを行っている。両組織とも ICT に関する専門職員が不在であり、短大情報システム室の技術職員が技術支援・運用支援を行っている。また、一部の業務については福岡短大のシステムを利用している。

3) ネットワーク構成(対外接続)

a. 学内 LAN

バックボーンは 20Gbps で運用している。また、各教室、研究室へも最大 1Gbps の LAN を提供している。

b. 対外接続

本学の対外接続は SINET 100Mbps, SuperOCN 1.5Mbps, BBIQ 100Mbps で行っている。SINET は媒体として NTT B フレッツを利用し安価に高速回線を確保できている。主にメールの送受信、学外から学内情報へのアクセスに利用している。SuperOCN 1.5Mbps の回線帯域はさほど広くないものの、OCN バックボーンに直結している高品質回線であり、遅延が非常に少なく、また高信頼性を誇る。このため、本学のメイン Web サーバや、学内実習用 UNIX サーバへの学外からのアクセスに利用している。BBIQ100Mbps はグローバル IP を ISP から DHCP によって割り当てられる回線であり、学内情報を学外に提供する回線としては利用が難しい。よってこの回線は学内端末から学外への Web アクセスに利用している。

4) 学外利用者への対応

学外向け利用者へのサービスである「eTokai」（学内呼称）の利用者は、平均 2~4 名/日程度である。会員数としては 5 名程度であるが、恒常的に利用されている。サポートは学生アルバイトスタッフを中心に行っている。